

1 単元 動物のすみかをしらべよう

2 目標

- 身の回りにいる昆虫に興味・関心をもち、意欲的に調べようとする。
(自然事象への関心・意欲・態度)
- 昆虫の食べ物やすみかに着目し、昆虫と植物のかかわりについて考えたり、昆虫の体のつくりについて、チョウの体をもとに比べ、共通点や相違点を考えたりすることができる。
(科学的な思考)
- 昆虫の成長過程や体のつくりを観察し、その特徴について分かりやすく記録し、まとめることができる。
(観察・実験の技能・表現)
- 昆虫の育ち方には一定の順序があり、頭、胸、腹から体ができているという共通点があること、昆虫によって食べ物やすみかに違いがあることなどを理解することができる。
(自然事象について知識・理解)

3 指導にあたって

本単元は、身近な昆虫を採集したり育てたりして、成長の過程や体のつくりを調べる活動を通して、昆虫を愛護する態度を育てるとともに、それらの成長のきまりや体のつくり及び昆虫と植物とのかかわりについての見方や考え方を養うことをねらいとしている。

児童は、これまでモンシロチョウが卵から幼虫、さなぎ、成虫になる過程を観察してきている。そして、チョウの成虫の体のつくりは、頭・胸・腹の3つの部分からできていること、頭には目や触角があること、胸には足が3対6本あることなどを学習してきている。また、日常生活では、カブトムシやクワガタなどを飼育したり、バッタやトンボを採集したりして、昆虫への関心は高い。児童の多くは、他の昆虫の育ち方や体のつくりについて、さらに詳しく知りたいと願いをしていると思われる。その一方で、昆虫に対して苦手意識をもっている児童も数名見られる。

そこで、本単元では、学校の「自然の森」を活用し、野外観察をしたり、幼虫を成虫まで育てたりする体験的な活動を多く取り入れながら学習を進めていきたい。単元の導入では、昆虫のすみかを予想したり観察の着眼点などを話し合ったりして野外活動の計画を立て、目的意識をもって取り組ませる。そして、自分たちが採集し、飼育してきた昆虫をモンシロチョウと比較しながら観察することで、いろいろな昆虫の育ち方や体のつくりなどの特徴をしっかりとらえさせたい。さらに、デジタル教材やインターネット、図書資料を積極的に活用し、多様な虫の世界に新たな興味・関心をもたせたり、直接昆虫に触れるのを苦手とする児童へも配慮したりしながら学習を進めていきたいと考える。

4 指導・評価計画（6時間扱い）

第1次 こん虫をさがそう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

時	学 習 内 容	評 価 の 規 準 (観 点)	評 価 方 法
1 (本時)	・昆虫のいる場所や観察のしかたを話し合い、野外観察の計画を立てる。	・昆虫のいる場所や観察のしかたがわかり、野外観察への興味をもとうとする。 (意欲・関心・態度)	・発表 ・行動観察 ・ワークシート
2	・校庭や「自然の森」へ行って、昆虫を探して観察する。	・昆虫に興味をもち、進んで探したり、観察したりしようとしている。 (意欲・関心・態度)	・行動観察 ・ワークシート

第2次 こん虫の体をしらべよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

第3次 こん虫の食べ物とすみかをしらべよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

5 本時の指導

(1) 目標

昆虫に興味をもち、昆虫はどのような場所にいるのかを予想したり、観察のしかたを話し合ったりして、野外観察の計画を立てることができる。

(2) 準備・資料

- ・「チョウの体のつくり」の掲示物
- ・昆虫の絵
- ・観察カード
- ・ワークシート
- ・プロジェクター
- ・教材提示装置
- ・パソコン
- ・NKHデジタル教材「ふしぎだいすき」
- ・図書資料

(3) 展 開

◎確かな学力をつけるための支援 ㊦：評価

学 習 活 動 及 び 内 容	教 師 の 支 援 ・ 評 価
<p>1 『『チョウ』つとちがう?』クイズを行い、チョウの体のつくりを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none">・体が頭・胸・腹の3つの部分に分かれている。・胸に羽と足があり、足は6本ついている。・卵→幼虫→さなぎ→成虫の順番で成長する。 <p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>こん虫はどんな場所にいるのだろうか、どのように観察をすればよいのだろうか。</p></div> <p>3 昆虫について知っていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none">・最近見た昆虫の名前や場所・今までに採集した昆虫・その後の飼い方 など <p>4 昆虫を見つけるポイントや観察のしかたを話し合い、野外観察の計画を立てる。</p> <p>(1) グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・昆虫が見つかりそうな場所・昆虫かどうか判別するための着眼点・準備するもの <p>(2) 話し合ったことを発表し合う</p> <p>【昆虫を見つけるポイント】</p> <ul style="list-style-type: none">・地面、木の周りを観察する。・大きな石や落ち葉の下を見る。・草むら、葉・木の葉の裏を見る。・池などの水の中を見る。 <p>【昆虫観察のしかた】</p> <ul style="list-style-type: none">・体の分かれ方・足や羽の数・どの部分からついているか・見つけた場所とようす <p>5 NHKデジタル教材「ふしぎだいすき」のクリップを視聴する。</p> <p>【視聴内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・野原の虫を見てみよう・バッタの観察をしてみよう・バッタとチョウの同じところ? <p>6 学習のまとめをして、次時の学習課題を知る。</p>	<p>◎既習のチョウの体のつくりについて間違いの絵カードを提示し、本物との違いを確認することで、昆虫の体のつくりを明確におさえる。</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書の写真や正確に記録できている児童の観察カードも提示し、昆虫観察の視点を強調する。 <p>・本時は、次時の野外観察のための話し合いであることを話し、友達の発表や教科書の写真などを手がかりにして、昆虫の見つかりそうな場所や観察の視点をおさえておく。</p> <p>・昆虫採集の経験がある児童には、捕獲した昆虫について発言できるよう事前に知らせておく。</p> <p>・梅雨に入るこのころから、トンボやバッタなどの身近な昆虫の成虫がたくさん見られるようになることを説明して興味を広げる。</p> <p>・5月にホテルの幼虫(やご)を「自然の森」の池に放したことを想起させ、トンボの幼虫も池などで成長し、成虫になることを説明する。</p> <p>・チョウの体のつくりをもとに、昆虫を判別する観点をしっかりとおさえておく。</p> <p>・体のつくりは、裏側から見ると分かりやすいことを助言し、腹に部分を持ってスケッチしたりデジタルカメラで接写したりするとよいことを伝えておく。</p> <p>◎「見つけた場所やその場所のようす」なども記録するように話し、第3次の「こん虫の食べ物とすみか」の学習を視野に入れて観察させたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・見つけた虫を観察する時は、一時透明なペットボトルなどに入れ、記録し終わったら逃がすよう話しておく。・野外観察の注意点として、危険な生き物や皮膚炎を起こす植物について説明し、服装や持ち物などについても確認しておく。・学校以外でも見つけた場合には、進んで観察できるように、記録用紙を配付しておく。 <p>◎身近な昆虫であるバッタを取り上げて、体のつくりや成長過程、採集の場所や捕獲の仕方などが紹介されており、単元の導入として学習の見通しをもたせ、観察の仕方などを参考にさせたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・視聴後は、調べてみたい昆虫は何か問いかけ、他の身近な昆虫への興味・関心を高めるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>㊦ 昆虫のいる場所や観察のしかたがわかり、野外観察への興味をもつことができたか。 (発表、行動観察、ワークシート)</p></div>